

2026/2/15 @松本市中央公民館：Mウイング
未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

ば ら ば ら だけど ひ と つ に
多 様 性 × 協 働

新 しい、価 値

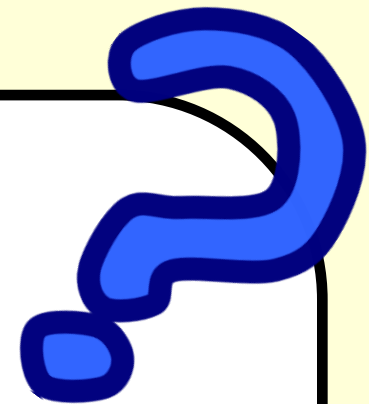
わ く わ く

長野大学 早坂 淳

Q1

まちづくりって

何だろう？

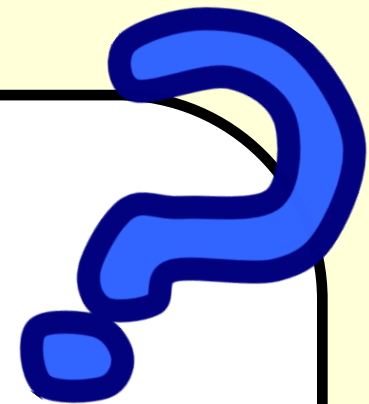


まちづくり

橋を架ける

現在から未来へ

Q2



ど「ち」らの途を
選びますか

強いリーダー

共通の
見方・考え方

従うべき
合理的な判断

安定した
未来の待望

主知主義

幸せ

幸せ

自律した市民

多様な
見方・考え方

納得できる
合意形成

対話という
荒波の覚悟

主意主義

お話の流れ

【テーマ①】 多様性：現在

私たちはどこから来てどこに居るのか

【テーマ②】 協働：未来

私たちはこれからどうなるのか

【テーマ③】 新しい価値：架橋

私たちは何を願って橋を架けるのか

テーマ①

現在

ば ら ば ら

多様性

多様性の類型

【統計的】多様性

表層的な（男女，年齢，国籍…） “ちがいは”

【神経】多様性

中枢神経における発達の “ちがいは”

【認知的】多様性

見方・考え方の “ちがいは”

前提①

探索

結合

実装

イノベーションに

不可欠

前提②

分類

脅威

集団

私たちは多様性が
苦手

おぼえておきたい

バニスター効果

限界は常に内に

おぼえておきたい

インドの寓話

群盲象を評す



結論

独りでは

象の全体像を

知りえない

テーマ②

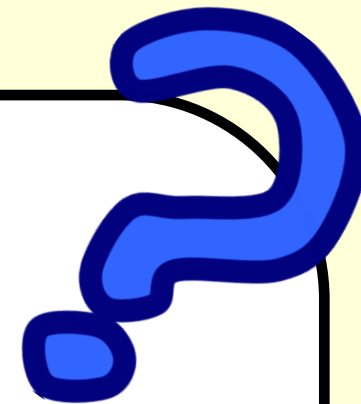
未来

ひとつに

協力

働

Q3



現代社会の
特徴は？

第四次産業革命^{*1}



第一次

18-19C

水力・蒸気

織物業・鉄鋼業



第二次

19-20C

電気

重化学工業

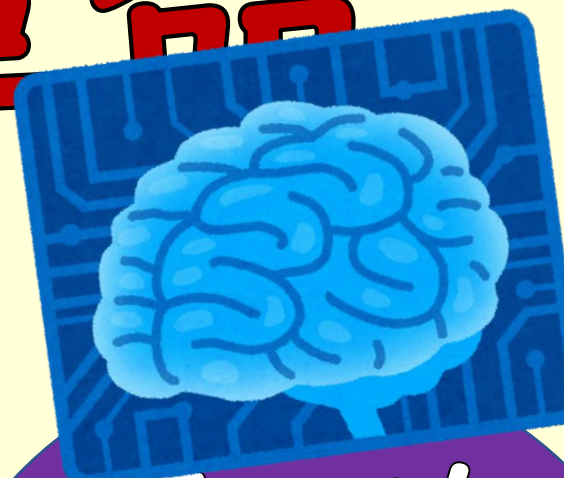


第三次

1980~

ICT

情報産業



第四次

2016~

AI, IoT,

Bigdata

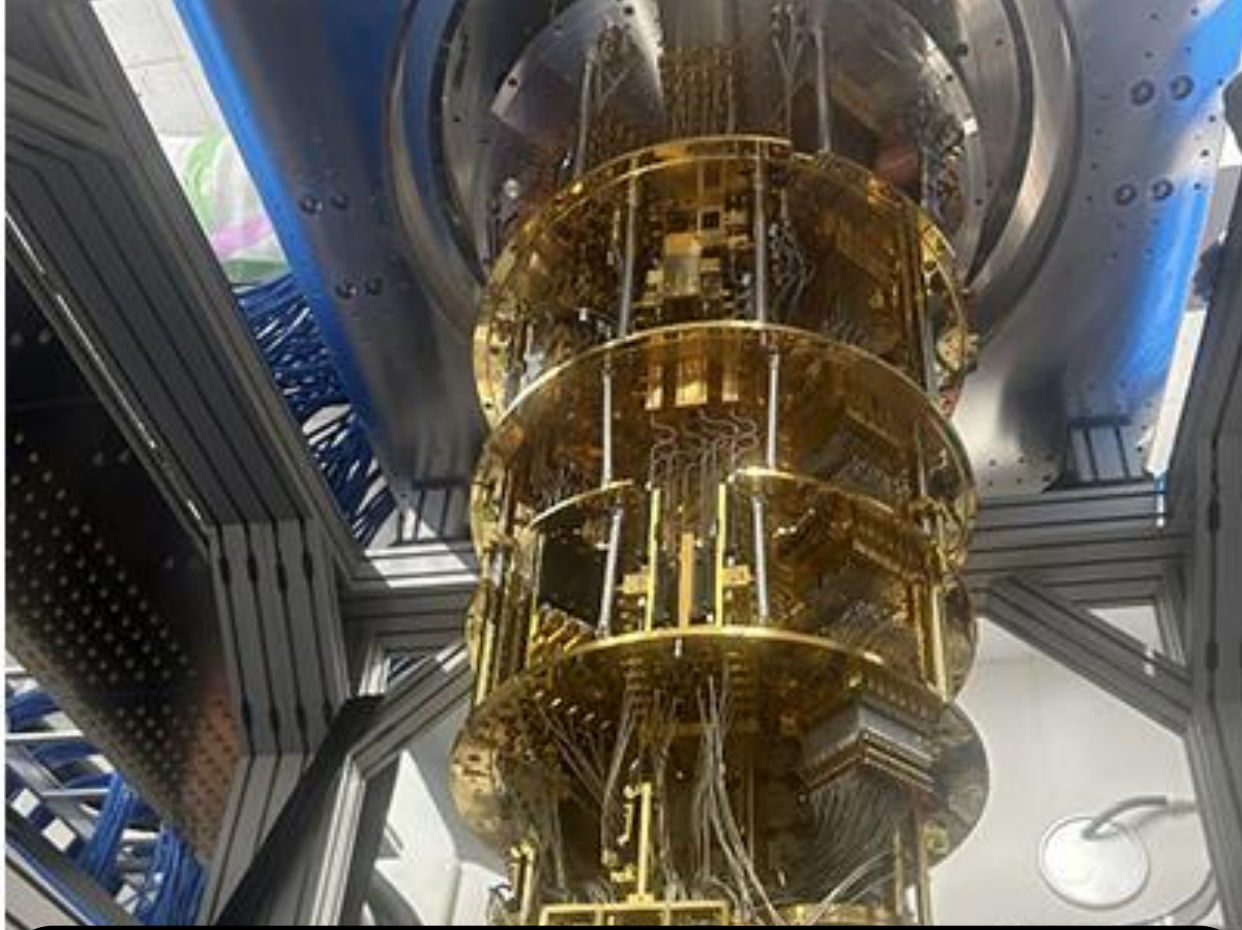
シンギュラリティ 2045年



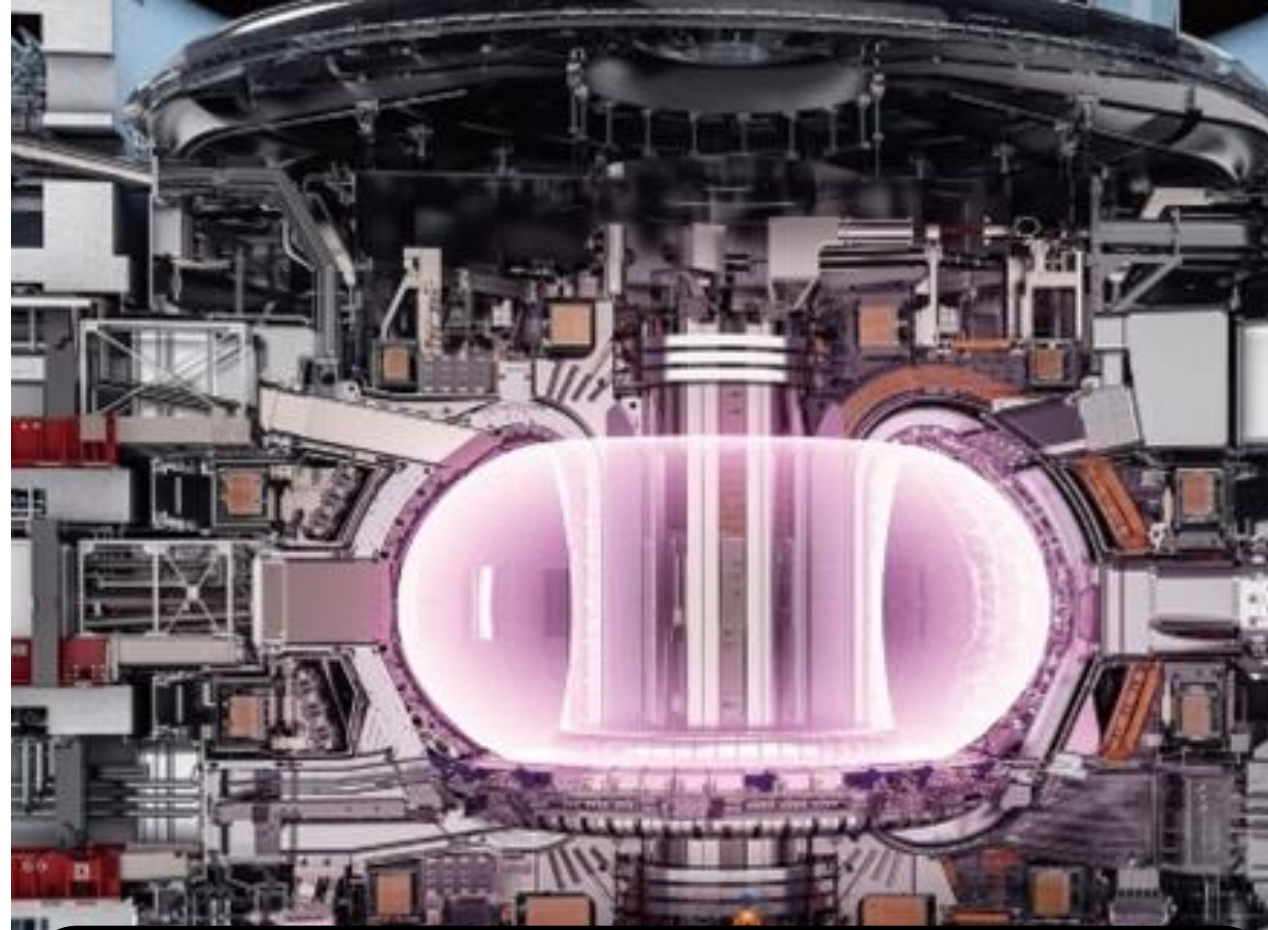
AI2027_{*2}

すぐに

第五次, 第六次
産業革命が



量子コンピュータ



核融合発電



前提①

変化がとっても激しい
“象”が巨大化

前提②

いまこそつながって
納得のいく答えを

どうしたらつながれるのか

- 協働とは何かを知る
- 対立を歓迎する
- ちがいを楽しむ

越境

協働とは何か

融合的
価値創発

協働

対等並立
市民

双方向的
互惠的

連携

対称的
当事者

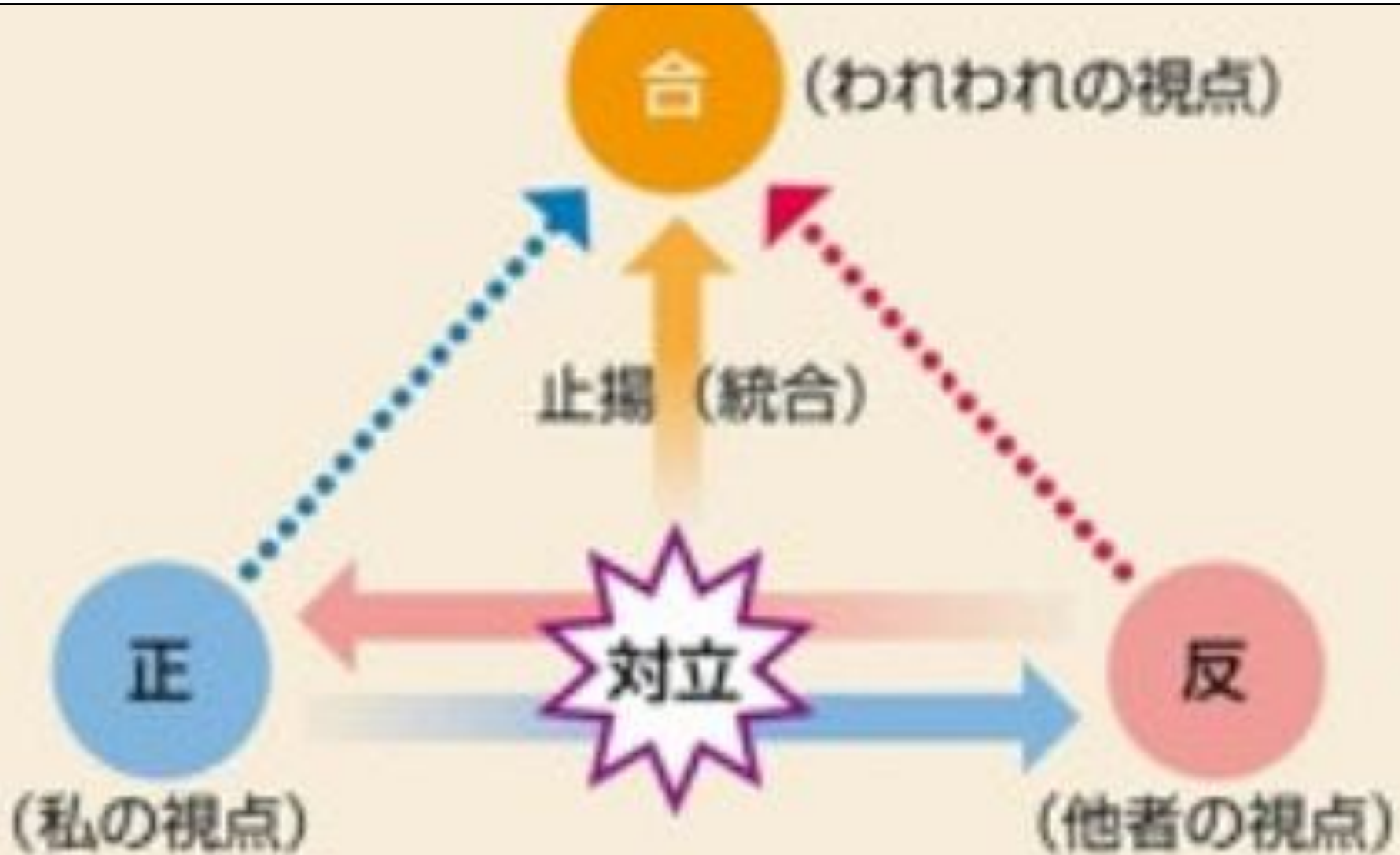
一方向的
貸し借り

支援

非対称的
支援者/被支援者

対立を歓迎する

*3



求同尊異

ちがいがいいを楽しむ

どうしたらつながれるのか

- 協働とは何かを知る
- 対立を歓迎する
- ちがいを楽しむ

越境

セーフティーゾーン



越境

ストレッチゾーン

越境

性別，文化，価値観，
伝統，言語，宗教…

「境界」をまたぐことで
①気づき，②協調，③省察，
そして④変容をもたらす *4

テーマ③

橋を架ける

わくわく

新しい価値

well-being

ウェルビーイング

身体
的

精神
的

社会
的

ウェルビーイング

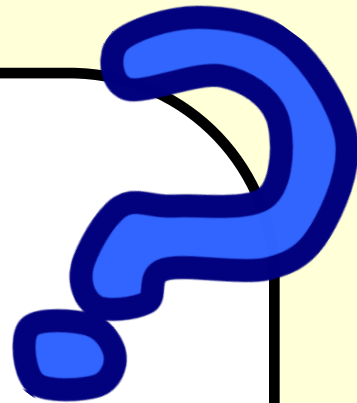
身体や心や周りとの関係、
社会の中での自分の在り方が
自分にとってちょうど良い状態

*5

Q4

みんなの幸せを

目標に掲げる自治体





長野県

長野県 教育振興基本計画

・最上位目標

「未来をつくる、学びでつくる」
個人と社会の
ウェルビーイングの実現

Q5

みんなが幸せって

可能ですか？



Richard Ryan

Edward Deci

自己決定理論

*7

ウェルビーイングを支える3つの柱

- ① つながり : Relatedness
- ② やりがい : Competency
- ③ 自分らしさ : Autonomy

Q6

私たち大人の

できること・すべきこと

責任って？

まとめ

ば ら ば ら だけど ひ と つ に
多様性 × 協働

新しい価値

わ く わ く

本日の資料*8



<https://drive.google.com/file/d/IfmZYhA4XriiMxqITF-EeupgqeyWQigm/view?usp=sharing>

- *1 教育分野における議論としては、佐藤学（2021）『第四次産業革命と教育の未来 ポストコロナ時代のICT教育』，岩波ブックレットNo.1045，岩波書店。 に詳しい
- *2 Kokotajlo, D., Alexander, S., Lifland, E., Larsen, T., & Dean, R. (2025). AI2027: A Shocking Scenario Predicting the Arrival of Superintelligent AI and Its Evaluation. AI Futures Project. <https://ai-2027.com>
- *3 ヘーゲル著，金子武蔵訳（1807=1971）『精神現象学』岩波書店 。
入門編としては，斎藤幸平（2025）『100分de名著 ヘーゲル 精神現象学』NHKテキスト，がおすすめです
- *4 Akkerman, S. F., & Bakker, A. (2011). Boundary crossing and boundary objects. Review of Educational Research, 81, 132-169.
- *5 山口有紗（2025）『子どものウェルビーイングとひびきあう 権利，声「象徴」としての子ども』明石書店。
- *6 長野県（2023）第4次長野県教育振興基本計画 <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku02/gyose/zenpan/keikaku/keikaku-4.>
- *7 Ryan, R. M., & Deci, E. L. (2000). Self-determination theory and the facilitation of intrinsic motivation, social development, and well-being. American Psychologist, 55(1), 68-78.
- *8 本講演資料は，作成者（長野大学：早坂）を明示いただければ，どのようにご活用いただいても構いません

【その他】早坂が参画している（いた）本報告に関連のある委嘱委員や研究活動

1. コミュニティスクール検討会・座長（長野県教育委員会生涯学習課） <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs2024.html>
2. 「一人ひとりに合った学び実践校（仮称）」検討会議・委員（長野県教育委員会教育政策課） <https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku02/jissenko.html>
3. 上田市オーブンドアスクール設置検討委員会・委員（上田市教育委員会） <https://www.city.ueda.nagano.jp/uploaded/attachment/69977.pdf>
4. 2024 コミュニティスクールシンポジウム@長野大学 ーCS決戦 山口VS長野ー <https://www.youtube.com/watch?v=qVbuAxsq5Ns&t=39s>
5. 2025 コミュニティ・スクールシンポジウム@長野大学 ーウェルビーイングとコミュニティ・スクルーー <https://youtu.be/IAisevINfko>
6. 早坂淳（2020）「長野県におけるコミュニティスクールに関する実態調査」． <https://sites.google.com/nagano.ac.jp/hayasaka-cs/>

* 本講演は，JSPS科研費 22K02291および25K05926の助成を受けた研究成果の一部です。